

# 政策シート (政策名) 産業と市民活動による担い手の確保

(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

## ◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

### ◇政策の概要

観光資源としての農山漁村の魅力を発信し国内外からの交流人口を増加させ、地域の活性化を図る。食農教育や地産地消を推進し、消費者である市民の理解促進を図り、地域の食文化に根差した農林水産業の振興を実現する。

### ◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費				
-----	-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	12,387	16,163				
決算	11,152					
人件費(A)	16,540	14,440				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	27,692	30,603				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
農林漁家民宿宿泊者数	人	目標	650	700	750	800	850	900
		実績	R2.9月頃					
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

都市と農山漁村との交流促進として、「山フェス」における浜松パワーフードブースや、「家康公」祭りにおける「浜松パワーフードパーク」を設置し、農水産体験に関わることができる機会を創出し、事業を推進することができた。さらに、小学生を対象とした「伝えよう！ふるさとの味」を開催し、地産地消の推進と食育の推進を図れた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	もうかる農業推進事業	○	○	○		30,603	16,163	1.6	0.9		
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						30,603	16,163	1.6	0.9		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) もうかる農業推進事業

### ◇事業目的・事業対象

「農泊 食文化海外発信地域(SAVOR JAPAN)」の認定を契機に、浜松・浜名湖地域のうなぎに代表される食文化を基軸として、食と産業観光、音楽・伝統文化を組み合わせることで、国内外からの観光客を誘致し、地域の活性化や農林水産業者の所得向上を図る。

### ◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.39、45、57、109】

- (1) 食×農プロジェクト推進協議会事業
- ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催
  - ・外国人向け食×農体験プログラム造成
  - ・小学生向け食育プログラム
  - ・やらまいか大使と久田シェフとの連携プロモーション事業
- (2) グリーンツーリズム推進事業
- ・静岡県グリーンツーリズム協会への参加による都市と農山漁村の交流促進

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,387	16,163				
	決算	11,152					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	11,152	16,163				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		16,540	14,440				
人工	正規	1.9	1.6				
	再任用(h31)	0.9	0.9				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2、12.3、12.8、12.b、
④ 教育	○ 4.7	⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.6	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

本地域の食文化を基軸に、地域外への情報発信やプロモーション活動、都市と農山漁村交流を実施することで、国内外との交流人口の増加と農林水産業の持続的な運営及び地域の活性化が見込まれる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
農林漁家民宿宿泊者数(人)					I-1(1)ウ	I-1(1)エ	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	600	650	700	750	800	850	900
実績値	431	R2.9月頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
農林漁業体験プログラム数(件)							39
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		57	60	63	66	70	75
実績値	39	53					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者(事業者)						I-1(1)エ	45、57
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		100	200	300	400	500	600
実績値	60	113					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
農水産業に係る食育体験の体験者数(R1~累計)(人)							109
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	250	3950	6550	9150	11750	14350
実績値	—	1352					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
グリーンツーリズムによる交流人口					I-1(1)ウ		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	300	303					
実績値	332	R2.9月頃確定					

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.39、45、57、109】

徳川家康公の躍進を支えた、浜名湖の魚介類をはじめとするこの地域の豊かな旬の食材を「浜松パワーフード」として位置づけ、飲食店や観光事業者等と連携したプロジェクトを推進した。  
浜松市やらまいか大使である「和久田哲也」氏との連携により、オーストラリアのシドニーにおける飲食店にて、の食や観光、歴史を交えた市長トップセールスによる本市への誘客プロモーションを実施した。  
小学生等を対象に地産地商や食育をテーマとした「伝えよう！ふるさとの味」を実施し、1次生産者や地域の方との交流を図った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・地産地消、食育をテーマとして開催した「伝えよう！ふるさとの味」は、18プログラムで1,352名の交流人口を図ることができ、当初の目標値を大幅に上回る結果となった。
- ・農林漁業体験プログラム数と浜松パワーフード宣言、応援宣言者数は、各種イベント等を通じての周知や、市やDMOのホームページ等をつづじて情報発信したことにより、計画値と同程度となった。
- ・農林漁家民宿の宿泊数については、市内外及び国外への周知があまり出来なかったことと、路線バスの見直し等により公共交通機関の廃止等により宿泊者数が伸び悩んだ。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

昨年2月より開始した「浜松パワーフードプロジェクト」と、民間にて立ち上げされた「浜松パワーフード学会」との連携により、1次産業者と2次3次産業者との繋がりをつくることができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

「浜松パワーフードプロジェクト」と民間にて立ち上がった「浜松パワーフード学会」、市内1次生産者や料理人、観光事業者の結び付きの強化をさらに進めるとともに、中山間地の交流拠点となる農林漁家民宿の情報発信を行い、地域への交流人口の増加を図る。

## 補助シート (事業名) もうかる農業推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
39	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施	【食と農の地域ブランド推進事業】 1 食×農体験プログラムの造成 2 国内外での誘客プロモーションの実施
45 57	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「浜松パワーフード」のPRイベントの開催
109	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「伝えよう！ふるさとの味」の開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「伝えよう！ふるさとの味」の開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「伝えよう！ふるさとの味」の開催	【食と農の地域ブランド推進事業】 ・「伝えよう！ふるさとの味」の開催

# 政策シート (政策名) 産業と市民活動による担い手の確保

(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
  - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
  - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

## ◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

### ◇政策の概要

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として市民農園の整備を推進する。

### ◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,142	740				
決算	978					
人件費(A)	4,380	4,040				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,358	4,780				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市民ふれあい農園数(体験農園を除く)	か所	目標	54	55	57	60	65	70
		実績	52					
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位%)	%	目標	83.5	84	85	85	86	86.0
		実績	72.5					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として市民農園の整備を推進する。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
------	-------

・所有する遊休農地を市民ふれあい農園として活用したいという相談は多いが、開設に至らないケースが多い。  
・市民ふれあい農園に対する市民のニーズは高いため、それに対応できる開設候補地の掘り起こしが課題である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市民に親しまれる農業推進事業	○	○			4,780	740	0.2	0.5		0.3
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						4,780	740	0.2	0.5		0.3

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800



令和2年度

(管理番号)  
01 02 04 02 001715000 01

(担当課)  
農業振興課

(責任者)  
豊田 周一

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

### ◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

### ◇事業の概要

#### ①市民ふれあい農園支援事業

##### ・市民ふれあい農園整備事業

農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。

##### ・いなさ金指農園の運営

市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S52	-	一般会計	自治事務	市民農園整備促進法	○	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,142	740				
	決算	978					
	国・県支出						
	市債						
	その他	139	160				
	一般財源	839	580				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		4,380	4,040				
人工	正規	0.3	0.2				
	再任用(h31)	0.4	0.5				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.3				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7, 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

⑪農業に親しむ場を提供するとともに農村部の振興を支援する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市民ふれあい農園数(体験農園を除く、単位:か所)					I-1(4)イ		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	54	54	55	57	60	65	70
実績値	51	52					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位:%)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	83	83.5	84	84.5	85	85.5	86.0
実績値	73.7	72.5					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①市民ふれあい農園支援事業 [決算978千円]

・市民ふれあい農園整備事業

農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。

・いなさ金指農園の運営

市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・令和元年度の市民ふれあい農園開設に関する相談案件は6件あり、このうち1件が新規開設となった。
- ・広報はままつによる市民ふれあい農園開設者募集のお知らせは効果が高く、例年数件の問い合わせがあるが、開設の条件が農地所有者の意向に合わない、農地の状況が市民ふれあい農園に適していない等の理由で開設に至らないケースが多い。
- ・農地の相続に伴い新たに園主となった人もいて、既存の市民ふれあい農園の運営・管理についての相談が増えている。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 広報はまつや市のホームページ、本庁の椅子広告等を活用した広報活動を実施している。
- ・ 令和元年度は市民ふれあい農園1箇所が新規開設した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 市民ふれあい農園の利用率を上げるため、市民に対する広報活動と併せて園主への運営指導・助言を行う。
- ・ (株)杏林堂との包括連携協定に基づき、市民農園利用者募集のチラシを配布していく。
- ・ 新規の開設については、引き続き広報活動を強化し、開設候補地の確保に繋げる。